

滋賀県水産技術職内 業務案

琵琶湖漁業の発展をめざして！

来たれっ！
浜とつながる
水産技師！！

浜と科学技術、浜と消費者、浜とあなた、
浜とつなげて、滋賀の水産業を盛り上げる、
ぜひ、ともに働きましょう！

滋賀県の水産業

滋賀県では次のような特色ある水産業が営まれています。

- ◆ 琵琶湖でアユ、ビワマス、ニゴロブナなどの特産の魚介類を捕る琵琶湖漁業
- ◆ 漁獲された水産物をつくだ煮や鮎ずしなどに加工・販売する水産加工業
- ◆ アユやマス類を養殖する魚類養殖業
- ◆ 淡水真珠を生産する真珠養殖業
- ◆ 河川でアユやマス類の釣り漁場を運営する河川漁業

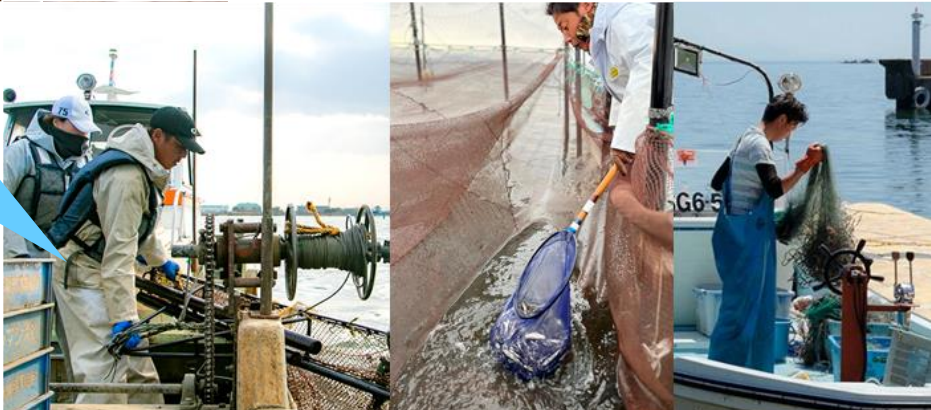


琵琶湖特産の水産資源

素材を活かす水産加工業



巧みな技術の
琵琶湖漁業



キラリと輝く
真珠養殖業



鮎や鱒を育てる
魚類養殖業



鮎や鱒の釣り場を
運営する河川漁業

水産技術職員の仕事

水産技術職員は、滋賀県の水産業を振興するというミッションに向かって、水産行政や試験研究のプロとして、次のような業務に従事しています。

【滋賀県職員の志(パーパス)】

- 琵琶湖とくらしを守る
- 三方よしで笑顔を広げる
- 豊かな未来をともにつくる

【水産技術職員の志(パーパス)】

- 琵琶湖の環境と水産資源を守るとともに、その恵みを楽しむ人々の暮らしを守る
- 漁業者、水産加工業者、消費者がともに笑顔となる施策を展開する
- 水産業の魅力を高め、次世代へとしっかり繋げる

水産行政

- 漁業が秩序を守り健全に発展するよう、関係法令に基づく許認可事務や検査業務、漁業取締りに従事します。
- 水産資源の生息量に応じた管理目標を定め、適切に漁獲管理が行われるよう漁業者の指導にあたります。
- 水産資源にとってすみよい場所となるよう、琵琶湖や河川の環境改善を図ります。
- 漁業への就業希望者に対して、技術習得研修などの着業支援を行います。
- 湖魚のブランド力を強化するとともに、利用者に届けられる流通の仕組みをつくりまします。



試験研究

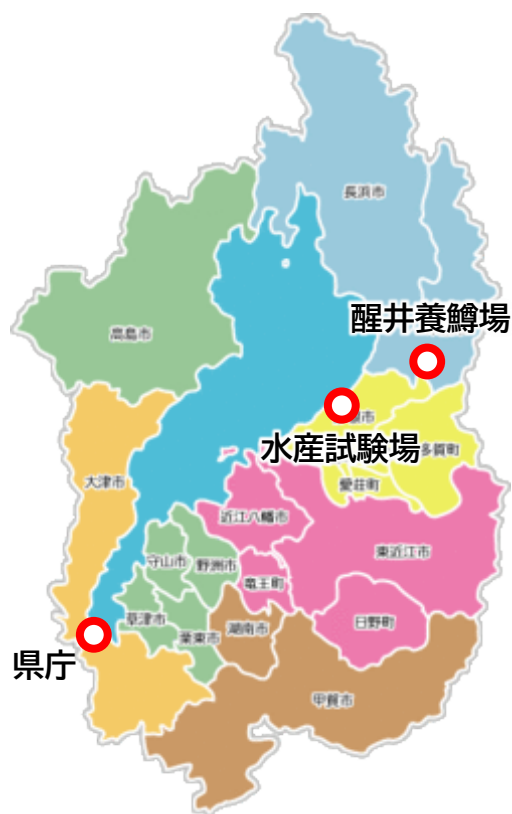
- 琵琶湖の環境(水温、水質等)をモニタリングし、漁場の変化を把握します。
- アユやビワマスなど、重要な水産資源の生息量や状態を評価し、適切な漁獲管理につなげます。
- 水産資源の変動要因を明らかにし、効果的な増殖手法を開発します。
- 魚や貝の養殖技術を開発するとともに、技術の普及・指導にあたります。
- 外来魚を効率的に駆除する技術を開発します。



外来魚(チャネルキャットフィッシュ)

水産技術職員の勤務地

滋賀県には、約40名の水産技術職員がいます。職員の主な配属先は、県庁の水産課、水産試験場および醒井養鱒場です。このほか、県庁の水産課以外の部署や琵琶湖博物館にも配属しています。定期的に異動はありますが、どの勤務地も通勤圏内と恵まれた立地にあります。



□ 県庁

(大津市京町四丁目1-1)
JR大津駅から徒歩約5分とアクセスは良好。水産課の業務は県下全域を管轄しているので、仕事での移動距離は県庁イチかも。



□ 水産試験場

(彦根市八坂町2138-3)
琵琶湖に面した立地。通勤は自家用車かJR南彦根駅からバス。市内平田町に職員住宅(5軒)あり。野外調査の多くは琵琶湖の上かその周辺の水辺。

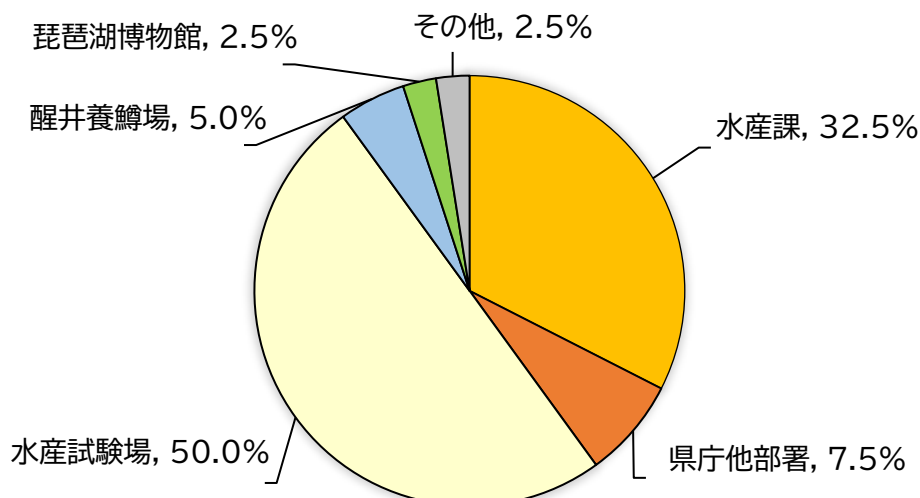


□ 醒井養鱒場

(米原市上丹生)
マス類の養殖と観光機能をもつ施設。水産技術職員は2名常駐し、マス類の増養殖技術開発に従事。通勤は自宅または米原駅から自家用車が便利。



水産技術職員の配属先(令和7年度)



Q1 水産技術職員に必要な資格はありますか？

水産技術職の仕事は、水産行政、試験研究どちらであっても、自ら船を操船して行う業務があるので、ほとんどの職員は小型船舶操縦免許を取得しています。入庁後に公費で免許を取得していただきますので、受験時にはなくても大丈夫です。

他にも業務を行う上で必要となる資格は、その都度、公費で取得していただきます。

Q2 勤務時間は？

勤務時間の基本は、午前8時30分から午後5時15分までの7時間45分ですが、時差出勤制度を利用することで、始業時刻をいくつかのパターンから選択できますので、育児などのライフプランにあわせた勤務が可能です。また、在宅勤務も可能です。

一方、漁業現場での業務や生き物の生態にあわせた調査を行う場合、早朝や夜間の勤務となることがあります。

Q3 週休日には休みが取れますか？

勤務は原則、土曜日と日曜日を週休日とする週休2日ですが、試験研究で生き物の飼育管理が必要な場合、イベント等への出役がある場合など、週休日に勤務することもあります。その場合は、振替休暇や時間外勤務手当の支給対象となります。

Q4 どんな休暇制度がありますか？

年次有給休暇(年間20日、時間単位の取得可)、夏季休暇(6日、半日単位の取得可)のほか、私傷病特別休暇、学校等行事休暇など、様々な休暇制度があります。

Q5 異動の頻度は？

水産技術職員は、一つの専門分野に留まることなく、水産行政と試験研究の業務を幅広く経験しながら、総合的にキャリアアップしていきます。このため、概ね3年から5年で異動することが多いです。

滋賀県の水産に関する情報サイト

滋賀県の水産に関してより詳しい情報を得るには、次のホームページが参考になります。

滋賀県ホームページ
滋賀の水産

- 滋賀県の水産業に関する総合的な情報
- 水産行政の業務内容

滋賀県ホームページ
滋賀県水産試験場事業報告
滋賀県水産試験場研究報告
滋賀県水産試験場調査資料

- 水産試験場の研究成果

醒井養鱒場ホームページ

- 醒井養鱒場の施設紹介
- 醒井養鱒場のイベント案内

遊漁の電子手帖 FiShiga

- 滋賀県の遊漁ルールを紹介

【お問い合わせ】
滋賀県農政水産部水産課
TEL: 077-528-3871
E-mail: gf00@pref.shiga.lg.jp